

事業所名 グループホーム雅

運営推進会議開催報告書

開催予定日時 令和3年3月19日(金)14時～ ※コロナウイルス感染予防のため、照会依頼にて参加予定者から意見を聞き取りする。	
参加者(照会依頼含む)	議題
利用者 0名	① 利用者様状況報告
利用者家族 1名	② 行事報告
地域住民の代表者 2名	③ 身体拘束適正化検討委員会
市職員 1名	④ 質疑応答
地域包括支援センター職員 1名	⑤ 次回開催予定日
事業所 4名	
会議録	
<p>① 利用者様状況報告</p> <p>男性2名、女性7名の計9名様が入居しています。 最年長：女性89歳 最年少：女性77歳 平均年齢 84.1歳</p> <p>要介護度</p> <p>要支援 2…0名 要介護 1…0名 要介護 2…5名 要介護 3…1名 要介護 4…3名 要介護 5…0名 平均要介護度 2.8</p> <p>② 行事報告</p> <p>2月2日…節分、恵方巻作り</p> <p>御利用者と職員で恵方巻作りを行いました。サーモン、玉子、かんぴょう等を皆様で巻いて頂きました。また、柔らかいボールを使い豆まきも行いました。鬼のお面も御利用者と職員で手作りしました。</p> <p>2月26日…御利用者3名の誕生日会</p> <p>かつぱ寿司のお寿司とショートケーキをお持ち帰りして、昼食とおやつに召し上がって頂きました。</p>	

3月3日…おこし物作り

御利用者と職員でおこし物作りを行いました。おやつで召し上がって頂きました。

3月4日…御利用者1名の誕生日会

職員の手作りケーキとプリン、メッセージ入り色紙でお祝い致しました。

・予定行事

4月、お花見（内容未定）

5月、母の日（内容未定）

③ 第17回 身体拘束適正化検討委員会…身体拘束をなくすための「車いす」や「いす」

1. 車いすの機能
2. 座位保持の重要性
3. 座る能力3つのケース
4. まとめ

④ 質疑応答

○先日、私自身も初めて車イスのお世話になり（目がまわって歩けない）身近に感じました。うまく座れないのは本人の能力というより、車イスに原因がある場合が多い。座面クッション、体幹を支えるクッションなどいつも工夫していただいた事を思い出しました。快適な座位の為、色々ある事、いつもこれで良いのかと見つめる目、意識、勉強になりました。（利用者様ご家族）

⇒介護が必要な状態にある高齢の方にとって、座位は一日の中で一番多い姿勢となることが多いです。それぞれの御利用者にとって、体に負担がない椅子・車椅子や、付属する福祉用具について、また、姿勢を保持するための支援について、今後も新しい情報を収集しながら検討し続ける姿勢でありたいと思っています。貴重な経験談をお聞かせ下さりありがとうございました。

○3月3日におこし物作りをされていますが、その際にはどのような感染症対策されたのでしょうか？（水野地域包括支援センター様）

⇒基本的な対策ですが、「手洗い、消毒、手袋着用、マスク着用（職員）」を実施して行いました。2月恵方巻作り、3月おこし物作りの行事を行いました。職員間でも話し合い、中止にする話も出ました。しかし、現在感染症対策の為外出行事も中止にしている現状であり、ホーム内だけでも楽しんで頂けるよう、室内の行事は中止せず、行っていく方針としました。今後も感染対策はしっかり行い、実施していきたいと思っております。

○身体拘束について資料の中で、「車椅子に、一日中座れるだろうか」と記載してありましたが、職員が身体拘束を体験するなど身体拘束廃止への取り組みの一環として行っている事がありますか。(瀬戸市役所 高齢者福祉課様)

⇒これまでに、全職員に御利用者体験を行ったり、勉強会で身体拘束体験を行ったりしました。御利用者体験では、勤務の日に一日御利用者と共にフロアの椅子に座って過ごしてもらい、トイレ等移動の際には職員がどこへでも付き添うことで行動制限されることの窮屈さを感じてもらいました。身体拘束体験では車椅子やミトンなどの福祉用具を体験しました。今後も計画していきたいと思っています。

⑤ 次回開催予定日

2021年5月21日(金) 14:00～